

ガバナンス・汚職防止に向けた世界銀行グループの取り組みに関する コンサルテーション会合のお知らせ

世界銀行グループでは、ガバナンス・汚職防止に向けた世界銀行の取り組み強化のための戦略文書「世銀グループのガバナンス・汚職防止の取り組み」で提示する新アプローチにつき、様々な立場の皆様とのコンサルテーション会合を世界各地で実施しています。昨年9月の世銀・IMF年次総会での開発委員会(184の加盟国の財務大臣が世銀の政策・方向性を決定する会議)での議論や、国別の課題等を踏まえ、主に以下の論点を中心にご意見を賜ります。

頂いたご意見は1月末の世銀理事会に報告するとともに、ガバナンス・汚職防止戦略の充実や、3月の世銀理事会で議論される予定の進捗報告に活用いたします。上記戦略文書の検討・改訂作業の後、2007年第1四半期中に理事会に提出し、次の開発委員会(4月15日、ワシントンDCにて開催)に報告いたします。

この度、本件の担当チームが来日し、上記戦略文書の概要をご説明するとともに、日本の政府、ドナー機関、NGO・シビルソサエティ、民間企業、大学・研究機関をはじめ、様々な立場の皆様からご意見を賜るコンサルテーション会合を以下の通り開催します。つきましては、大変お忙しいなかとは存じますが、ぜひともご参加くださいますようお願い申し上げます。

日時 2007年1月26日(金) 午後2時~4時

場所 世界銀行東京開発ラーニングセンター(TDLC)/東京事務所
東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル10階 <http://www.worldbank.org/japan/jp>
地下鉄三田線内幸町、千代田線・日比谷線・丸の内線霞ヶ関駅下車

報告 ジョエル・ヘルマン 世界銀行東アジア大洋州地域担当ガバナンスアドバイザー(ジャカルタ事務所)

報告・意見交換は英語・日本語(同時通訳付き)、参加費は無料です。参加をご希望の方は、別紙にてファックスまたは同内容を komori@worldbank.org 宛にお送りください。

問い合わせ先 世界銀行東京事務所 大森 komori@worldbank.org 電話 03-3597-6650

コンサルテーションの背景や戦略文書の全文は以下のウェブサイトをご覧ください。
<http://www.worldbank.org/html/extdr/comments/governancefeedback/>

今回のコンサルテーションでの主要な論点は以下の通りです。

1) **取り組みについて:** ガバナンスが弱く、汚職が多い国(政府のリーダーは必ずしもこれらの問題に対処していない国)で世界銀行は何をすべきか。その場合、世銀はどんな形で貧困削減への支援を継続できるか。世銀が融資を制限・停止すべき場合はあるか。世銀はどうすれば被援助国に一貫性のある扱いができるか。

2) **様々な立場の関係者へのアプローチ:** 世銀の主要な相手は政府だが、世銀グループはCSO、メディア、企業などの非政府団体とどのような関係をもつべきか。政府の内外での改革の主導者をどのように支援すべきか。

3) **受託者リスクの緩和:** 被援助国がそれぞれ独自の制度・能力を構築できるよう支援する一方で、無償資金や融資が当初目的の通りに活用されるようにするには世銀はどうすべきか。

4) **グローバルな取り組み:** 各国のドナー機関、世界銀行、その他の多国間国際機関は、被援助国のガバナンス改革の支援にあたりどのような相互補完が可能か。ドナーそれぞれが別々の意向を提示する状況をどのように避けることができるか。汚職対策にあたっての先進国から見た多国間国際機関の役割は何か。

5) **変化の測定** : 国別に進捗状況を測定するにはどのような指標がもとめられるか。

6) **その他**

参加申込票

FAX03-3597-6695 世界銀行東京事務所宛

2007年1月26日(金)午後2時～4時

ガバナンス・汚職防止に向けた
世界銀行グループの取り組みに関するコンサルテーション会合

お名前 (日)

(英)

ご所属 (日)

(英)

お役職・肩書き (日)

(英)

ご連絡先 (住所)

(電話・FAX)

(Email)
